

9月17日 精一杯腕を伸ばして

おはようございます。

先程、空手・水泳の表彰式を終えました。2人とも素晴らしい活躍でした。これも今まで積み上げてきた努力の成果だと思います。夢はオリンピック金メダル・世界チャンピオンでしょうか？これからも頑張ってくださいね。

そして、この3連休は中学校の部活動で秋の大会が行われました。その中で本校のソフトテニス部・バスケットボール部・サッカー部の試合が行われ、残念ながらどの部も負けてしまい、9年生が引退となりました。9年生の皆さんは最後の大会やコンクールが終わり、3年間、あるいは5年間の部活動が終わったときに、しっかり泣けたでしょうか？本当に涙が出たかどうかは別として、部活動をしっかりやり終えたと思うことが大事なのです。その象徴としての涙は人生の中でもそうそう流せるものではありません。とてもうらやましい涙です。残された5年生以上のみんなにも是非、最後に涙が流せるような部活動であってほしいと思います。

そこで校長先生が今から20年以上前に卓球のオリンピック選手から聞いた、今でも忘れない卓球が上手くなる秘訣をお話します。これはどのスポーツにも、もしかしたら勉強にも通じる話ですのでしっかり聞いてください。

卓球が上手くなるには当然練習が必要です。そのオリンピック選手も1年365日、毎日8時間以上練習したそうです。その中で最も大切なことは、どう考えても取れないボールが来た時の対応だそうです。あきらめて手を伸ばさないか、届かないとわかっていてもあきらめないで手を伸ばすかが大きな分かれ目となります。あきらめていたら、そのボールを取ることは一生できません。でもあきらめずに何度も腕を精一杯伸ばし、ボールを取りに行き続ければ、徐々にボールとの距離が縮まり、最後には取ることができるそうです。そうして取れるボールを少しずつ増やしていきことが強くなる秘訣だと教えてくれました。

どうですか？最初は不可能だったことでも毎日努力を続ければ、徐々に成功に近づくことができるのです。あきらめこそが、成功への一番の大敵だということを教えてくれるお話です。これは、人生のすべてにおいて大切なことかもしれません。あきらめないで腕を精一杯伸ばし続け、最後は涙で終えることができれば最高ですね！